

# やすらぎ通信

第15号 (平成24年2月1日) 発行: 大阪府立急性期・総合医療センター

## 如月(梅見月・うめみづき)

### 寒い朝

佐伯孝夫 作詞 吉田 正 作曲

- (1) 北風吹きぬく 寒い朝も  
心ひとつで 暖かくなる  
清らかに咲いた 可憐な花を  
みどりの髪に かざして今日も ああ  
北風の中に 聞こうよ春を  
北風の中に 聞こうよ春を
- (2) 北風吹きぬく 寒い朝も  
若い小鳥は 飛び立つ空へ  
幸福(シアワセ)求めて 摘み行くバラの  
さす刺(トゲ) 今は忘れて強く ああ  
北風の中に 待とうよ春を  
北風の中に 待とうよ春を
- (3) 北風吹きぬく 寒い朝も  
野を越え山越え 来る来る春は  
いじけていないで 手に手をとって  
望みに胸を 元気に張って ああ  
北風の中に 呼ぼうよ春を  
北風の中に 呼ぼうよ春を

万代池は今、渡り鳥のオアシス。絶好のアングルを求め、早朝からカメラを据えて瞬間を待つアマチュアカメラマンが目立つようになりました。季節は早くも暦の上では立春を迎える時期になりました。

立春とは言え、これからが一年で最も寒い季節となりますが、皆さま方いかがお過ごしですか？風邪などおひきになっておられませんか？幸いにしまして今年は今のところインフルエンザも大流行には至っておりませんが、流行のシーズンにすでに入っています。やはり油断は禁物。インフルエンザ予防には、手洗いとうがいの励行が一番効果的とされています。是非小まめに実践しましょう。

ところで、四季のある日本の暦には、自然気象や太陽などの動きに関連させた季節感あふれる「節気」というのが付されております。「二十四節気」(にじゅうしせっき)といいますが、立春も重要な節気の一つで、立夏、立秋、立冬(四立)と併せて、季節の変わり目をつける日となっております。春分や夏至などの「分」や「至」も重要な節気で、立春と立夏の間に「春分」、立夏と立秋の間に「夏至」、立秋と立冬の間に「秋分」、立冬と立春の間に「冬至」を配置しています(二至二分)。因みに、1日の半分が昼となる日を「春分」と言い、1日の半分が夜となる日を「秋分」と言うようです。これら「四立」「二至二分」を合わせて八節と言い、季節の重要な節目を形成します。

そしてこれらはさらに均等に細分化され、立春と春分の間には「雨水」「啓蟄」が、春分と立夏のあいだには「清明」「穀雨」が、立夏と夏至の間には「小満」「芒種」が置かれています。さらに夏至と立秋との間には「小暑」「大暑」が、立秋と秋分の間には「処暑」「白露」が、秋分と立冬の間には「寒露」「霜降」が配置されています。さらに立冬と冬至の間には、「小雪」「大雪」が、冬至と立春の間には「小寒」「大寒」が入ります。1年が完全に24等分され、これらすべて合わせて二十四節気を形成しています。

もともこの二十四節気は古代中国(春秋・戦国の時代)で当時使われていた太陰暦による季節のずれを補正するために、太陽の運行をもとに1年を24に分類し、それぞれ季節を表す名前をつけたことに基づいており、日本では江戸時代から暦に使われ出したそうです。また、日本に取り入れられた際、日本の季節の変遷を反映させ、さらに「土用」「八十八夜」「入梅」「半夏生」「二百十日」などが付け加えられ(「雑節」)、合わせて日本の旧暦となりました。

こうして見ますと、紀元前の古代中国において、天文学など相当高度な文明がすでに確立されていたことを意味しており、また、季節の移り変わりに合わせ、その変遷に合った名前を付け、それをもとに季節の移ろいを楽しみ、さらには、それらを生産活動や生活や養生訓にも活用するという東洋人の豊かな文明観や知恵に感嘆します。

日本の近代化は明治維新によってもたらされましたが、当時その後の日本の近代化を支えた考え方は福沢諭吉が唱えた「脱亜入欧」であったと言われています。アジアの一員に留まっていた日本は西洋の植民地になると、明治以降ヨーロッパの近代産業文明を学び・取り入れて日本の政治的、経済的、社会的近代化を達成することが大きな日本社会の柱になりました。この140年間、様々な紆余曲折がありましたが、底流に流れているこの「脱亜入欧」の考え方や意識は程度の差さえあれ、未だ根強く私たちの精神文化の中に残っているのではないのでしょうか。その結果、日本は急激な近代化を遂げ明治維新から100年となる1970年頃には、GNP世界第2位の経済大国に発展しました。そのことにより私たちの物質的な生活水準は飛躍的に向上しました。しかし、物質的な生活水準の向上も、経済発展が1980年代をピークに陰りが生じ、今や社会の様々なシステムが行き詰まりを見せ、出口が見いだせない状況に陥っております。他方、精神文化の方はどうでしょうか。明治時代の日本人と、現代の日本人とを比べ、はるかに現代の日本人の方が、高い精神文化を身につけているかと言えば、自信を持って「イエス」と言える人は少ないのではないのでしょうか。

ここ数十年の変化を見ても、精神文化の低下として私たち日本人が考え直さなければならぬことが身近にみられます。J. A. T. D ニシャンタさんというスリランカ出身の方がいらっしゃいます。ご存知の方も多いと思いますが、少年期にボーイスカウトの交流で日本にホームステイでやってきたのがきっかけで、日本に対する憧れが日増しに募り、ついに苦学をしながら立命館大学に留学し、そのまま日本社会に定住され、今は京都に住み、大阪の羽衣国際大学という当センターにも近い大学で「国際関係論」を学生たちに教えておられます。数年前に日本国籍を取得され、また日本女性と結婚されていらっしゃるそうです。そのニシャンタさんが、昨秋NHKラジオ深夜便「明日へのことば」のコーナーにご出演されていたのですが、日本になぜ定住し、日本国籍まで取得するに至ったかを話されていました。そのなかで、ご自分が日本に魅かれた大きな理由の一つに日本人の精神文化の豊かさを上げて、確かこのようなことをおっしゃっていました。「日本人の精神文化を表すものとして、『一を聴いて十を悟る』という言葉があります。私が25年前に日本に来たときの日本人は皆この精神を身につけていたように思います。けれど、この25年間で日本人の精神文化は悪い方向に変化してしまったかのように思います。たとえば、私は通勤等で電車を利用しますが、傍で高齢の方が立っておられるのに、シルバーシートで若者が席を譲らず座り続けている光景によく出会うようになりました。25年前には、このような経験はあまりありませんでした。あるときのことです。そのような場に出くわした私は勇気を奮って、そばで大きく咳払いをしました。それは、『一を聴いて十を悟る』日本人なら、私が何を言わんとしているかを悟って、すぐさま立っておられるご高齢の方に席を譲って

くれると期待をして咳払いをしたのです。しかし、結果としてその若者は一層下を向いて眠っているふりをするばかりでした。もう一度、咳払いをしました。しかし結果は同じでした。ほんの一例ですが、日本人が本来備えていた『一を聴いて十を悟る』という優れた精神文化が、失われているようで残念でなりません。」と、このような趣旨のお話だったと思います。

昨年は、未曾有の大災害に日本人全体が打ちのめされた年でした。しかし、その中で絆の大切さということが改めて再認識された年でもありました。また、大災害に遭われた方々が避難所でともに助け合って暮らしている姿や厳しい状況におかれてもなお慎みや和の精神を見失わない姿が世界にニュースで報道されたこともあり、日本人の精神文化に世界の多くの国の人たちから、「われわれも日本人に学ぼう」「日本人頑張れ」と賞賛の声が上がりました。1990年代以降、長期間にわたり、経済的、社会的な衰退が指摘されるなかで、自信喪失気味であった私たち日本人にとって「日本人も捨てたものじゃないな」ととても勇気を与えてくれる出来事でした。そのことに日本人はもっと自信をもって「リターン・トゥ・ジャパニーズウエイ（マインド）」に立ち返り、日本人の精神文化の原点、こころのありようの原点を、私たち一人一人が意識して取り戻すことが、日本の再生に最も大事ではないかと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

さて、今月の歌は、まだまだ日本人みんなが物質的には貧しかったけれど、こころはとても元気で暖かく、若者が未来に夢や希望をもてた時代の曲をとりあげました。「寒い朝」（1962年）、「いつでも夢を」「下町の太陽」（いずれも1963年）。いずれも丁度半世紀前の映画（「寒い朝」は石坂洋次郎原作の同名の映画化でしたが、封切が夏にずれ込んだため「赤い薔と白い花」に変えて封切）と主題曲になりますが、吉永小百合、倍賞千恵子、吉田正、いずみたく、山田洋次などきら星のごとく次々と出てきて若い中学生や高校生に夢と希望と確信を与えてくれました。

ふれあい病院探検隊、初めての試みですが、おかげをもちまして私立34校、公立66校、国立3校、合計で103校から600人を超える高校生のみなさんの応募がありました。募集に際しご協力をいただいた高校の先生方には厚くお礼を申し上げます。

このイベントが、参加される高校生の皆さんの夢、希望の実現の一助となることを願っております。

また、約100名に上る学生ボランティアの募集やイベントのブース出展にご協力いただいた相愛大学、森ノ宮医療大学、大阪府立大学の関係者の皆様方、本当にありがとうございます。ここから厚くお礼申し上げます。

## NEWS

### 【(新) 4月から内科系に“総合内科”を新設します！】

当センターにおける内科系診療科は、臓器・疾患別に専門内科に分かれて診察を行ってまいりました。しかし、来院時に診断の明らかでない患者さんや、専門領域の境界、あるいは重なる疾患をかかえておられる患者さんも多く見られることから、これらを総合的に診断し治療するとともに、的確な診療科を判断するための診療科の新設の必要性が高まってまいりました。また、感染性疾患の多様化やアウトブレイクの危機の増大など、今日感染症に対する診断機能の強化の必要性も高まってきております。

こうした要請に応えるとともに、当センターの医療水準を一層強化することなどを目的に、このたび、4月から新たに「総合内科」を新設し、診療を開始することになりました。

詳細は、来月号以降でお知らせいたしますのでご期待下さい。

### 【(新) 今月から「医療相談」コールセンターを設置しました—地域医療連携室】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じる「医療相談」コールセンターをこのたび開設しました。お気軽にご利用ください。

**電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線。)**

**相談日時 月曜日～金曜日**

**午前9時～午後5時**

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくは家族等

相談員 看護師

### 【(新) 高校生参加イベント —2012 ふれあい病院探検隊—開催！！】

～あなたも医師や看護師に！病院の仕事を体験しよう！

高校生のみなさん！一度医師や看護師になり病院の仕事を模擬体験してみませんか！当センターでは、高校1年生、2年生を対象に、医師や看護師、薬剤師、検査技師等になったつもりで、当センターが提供する30を超えるアトラクション（模擬体験）を体験できるイベントを初めて行います。

日時 平成24年2月5日（日） 午前10時～午後4時

場所 当センター講堂及びその周辺

対象 府内の高校1年生、2年生 (参加無料)

申込みは締め切りました。ありがとうございました。

なお、本イベントは相愛大学、森ノ宮医療大学、大阪府立大学のご協力を得て実施します。

### 【(継) 前立腺がんの IMRT 治療を開始しました—放射線治療科・泌尿器科】

前立腺がんに対する IMRT（強度変調放射線治療）を昨年 11 月から保険診療を開始しております。昨年導入したリニアック（Novalis Tx）を用いた画像誘導放射線治療です。この治療のメリットは、メスを使わずに高い確率でがん癌を制御できるだけでなく、通常の放射線治療と比べ晩期の有害反応（直腸出血など）が抑制できることです。この治療法が加わり、前立腺がんに対する放射線治療のほとんどが当センターで可能になりました。

### 【(継) がんの小線源治療を開始しました！—放射線治療科・泌尿器科・産婦人科】

放射線治療部では小線源治療装置を更新し、子宮頸がんに対する腔内照射を行っています。また、患者さんに優しい治療として、希望する方には鎮静下での治療を行っています。痛みを感じることなく小線源治療が可能です。

さらに、前立腺がんに対する小線源治療としてヨード密封線源永久挿入療法も行っています。全身麻酔下で長さ 5mm、直径 1mm 程度の線源を前立腺に 50-80 個程度埋め込む治療法です。2-3 時間の埋め込む手術を行うだけで、入院も数日で済み、非常に短期間で治療が完遂できるメリットがあります（通常の外部照射による放射線治療では 7～8 週間かかります）。但し、この治療は適応が限られます。詳しくは当センター泌尿器科もしくは放射線治療科でご相談下さい。

### 【(再) 甲状腺外科外来を開設しました —耳鼻咽喉・頭頸部外科—】

耳鼻咽喉・頭頸部外科では、甲状腺外科外来を開設しております。

甲状腺外科の検査・治療の窓口として院内外からの診察依頼を幅広く受け付けています。甲状腺疾患の患者さんを対象に、即日超音波検査（細胞診を含む）と血液検査を行い、速やかに診断を行います。

外科的な治療が必要な場合は手術治療を行います。さらにバセドウ病や悪性甲状腺腫に対して、I-131 による RI 治療が必要な場合も、画像診断科、放射線治療科と連携して治療を行います。

内科的な投薬治療を行う場合は、糖尿病代謝内科と協力して診療を行いますが、慢性期の疾患の場合は、地域のクリニックをご紹介させていただきます。

開設日 月 ・ 水 ・ 金 の午後

お問合せ先 耳鼻咽喉・頭頸部外科 主任部長 坂田義治

### 【(再) 診察予約変更センター

**11 の診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！**

当センターでは、昨年 6 月から 11 診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。

これは、当センターが進めています「患者さんにとって利便性の高い病院づくり」の一環として導入整備したもので、急な用事や体調変化で予約された日時に診察のために来院できなくなった場合に、電話で日時の変更ができるサービスをご提供するものです。

予約変更を電話でできるのは、以下の診療科です。是非、積極的にご活用ください。

なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして  
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 内科・呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科 整形外科  
免疫リウマチ科 皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科  
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

#### 【(再)入院治療費の概算を予めお知らせしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター(やすらぎセンター)におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

#### 今月の催し

#### 【(新)第4回やすらぎ寄席—三代目桂春団治—門落語会】

日 時 2月21日(火) 午後2時～

場 所 3階講堂

出 演 桂 福矢

桂 咲之輔

主 催 万代やすらぎ亭

ご協力 三代目桂春団治師匠を囲む会

(入場無料)

### 【(新)まつぼっくりコンサート】

地元の帝塚山学院の関係者で結成されている混声コーラスグループによる楽しいコンサートです！

日 時 3月5日(月) 午後1時30分～ 場所 1階アトリウム  
午後2時10分～ 場所 3階講堂  
出 演 混声合唱団 まつぼっくり  
主 催 医療サービス改善委員会

### 【(新) 大好評！！】

**相愛大学連携・外来糖尿病教室～知って得する！糖尿病の付き合いかた～】**

日 時 2月15日(火) 午後2時～3時  
場 所 1階アトリウム  
内 容 (1) 食後血糖に気を付けて動脈硬化を防ごう！  
糖尿病代謝内科部長 馬屋原 豊  
(2) ちゃんと測れていますか？血糖値  
臨床検査科技師長 今西 啓子  
(3) 野菜をたくさん摂るには  
栄養管理室管理栄養士 笠井 香織

### 【(新) 今月のすこやかセミナー】

#### ① 認知症の最近の話題—診断と治療を中心に—

日 時 2月9日(木) 午後2時～3時  
場 所 3階保健教室  
講 師 神経内科主任部長 狭間 敬憲  
(参加無料)

#### ② あなたが、家族ががんと診断されたら

～知っておきたい最近の抗がん剤治療薬～

日 時 2月24日(金) 午前11時～12時  
場 所 3階保健教室  
講 師 薬局薬剤師 左近 美佳  
(参加無料)

### 【(継) 現代美術空間・病院ギャラリー 第5回企画展 開催】

「やすらぎの木版作家—浅野竹二



## ユーモアとペーソスの自由版画展一

日 時 平成 23 年 12 月 26 日（月）～平成 24 年 6 月 22 日（金）

場 所 本館 2 階ギャラリー（入場無料）

浅野竹二は、1900 年京都生まれ。京都市立絵画専門学校で日本画を学んだ後、油絵を始めますが、再び日本画を描き始め、日本画家として活躍します。1930 年頃からは、木版画の制作を始め、写実的な「名所絵版画」を制作する一方で、自由に自分の感性を表現した『創作版画』を制作し、大胆なフォルムと色彩で構成されたユーモア溢れる作品を発表しました。

今回は「ユーモアとペーソスの自由版画展」と題して、これまで展示してきた情景版画とは全く異なる軟らかく暖かい情緒豊かな自由版画をお楽しみいただきます。

なお、本企画展は大阪府立現代美術センターのご協力を得て開催しております。

### 【(新)予告：第 5 回やすらぎ寄席—平成の爆笑王 桂 かい枝落語会】

日 時 3 月 12 日（月）午後 2 時～

場 所 3 階講堂

出 演 桂 かい枝

主 催 万代やすらぎ亭

（入場無料）

### 【(新)予告：第 6 回やすらぎ亭寄席—若手女流！のホープ 旭堂小二三の講談会】

日 時 4 月 23 日（火）午後 2 時～

場 所 3 階講堂

出 演 旭堂 小二三

主 催 万代やすらぎ亭

（入場無料）

## Topics

### 【(継) PET-CT 整備完了間近！—がん診療の一層の強化へ！】

PET-CT の整備につきましては、今月半ばには据え付け工事を完了する予定で現在最終段階に入っています。その後、検査開始のための諸調整を約 1 月間行い、本格的に検査を開始することとなりますが、詳細は来月号でお知らせします。この整備により、当センターのがん診断機能が一層強化され、また地域の開業医の先生方からの検

査依頼にもお応えできるようになるなど、これまで以上に大阪南部地域のがん拠点病院としての役割を果たしていけるようになります。ご期待をしてください。

### 【(継) 春を待つ！やすらぎのプロムナード—北側通路周辺—】

やすらぎのプロムナードは一昨年開設以来、やすらぎと潤いのある空間として皆さま方に大変ご好評をいただいておりますが、やはり寒さが一段と厳しいこの季節は、訪れる方もめっきり減りました。しかし、プロムナードの木々たちは、堅い新芽の蕾の中で脈々と春の到来を見据えてエネルギーを蓄積しております。プロムナードの名所は「満天星（どうだん）つつじ」。毎年春にはその可憐で美しい花々を一斉に開花させ、見る人々の心をなごませてくれます。是非、皆さま方楽しみに春の到来を待っていてください。

カレーショップの横のテラスに防風対策を行いました。是非ご利用ください。

### 今月のコンシェルジュ

### 【(新) コンシェはどんな人？—宇津木知佳コンシェルジュの巻—】

宇津木「こんにちは。宇津木知佳と申します。私が当センターに勤務して半年が経ちますが、毎日笑顔で過ごさせて頂いております。私が大切にしております言葉の一つに『自分の顔は自分以外の周りの方のためにある』というのがあります。本来、自分の顔は自分を知っていただくためにありますが、自分の顔の表情一つで周りの方を笑顔にすることも、その逆にすることもできるという意味です。私が、笑顔で応対させて頂いたときに、患者さんから「ニコッ」と笑顔を返していただくと、最高にうれしい気持ちになります。少しでも患者さんに安心してご来院いただけるよう、笑顔を忘れずに頑張っていますので、これからもよろしくお願い致します。」

## その他のお知らせ

### 【(継) やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページからアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページのご検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

### 【(継) 医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。